合併10周年
検証と発展の新たな一歩を

開かれた議会をめざし

新年のご挨拶

石川彰宏議長

市民の皆様におかれましては、平成28年の輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。市議会を代表いたしまして、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年、本市においては、8月の豪雨、そして、12月に降る雨としては記録的な雨でありましたが、大きな被害はなく何よりでした。

全国的に見てみると、関東地方では鬼怒川の堤防の決壊による常総市の甚大な被害、口永良部島・阿蘇山・桜島・箱根など、火山が異常なまでの動きをし、避難勧告や観光客の減少など日常生活に大きな影響を与えた1年でもありました。本年は正月三が日のように穏やかな1年であってもらいたいと思うところです。

昨年は半世紀ぶりの国産旅客機の開発、商業衛星ロケットなど、他国より遅れをとっていた分野での進展があり、物づくりにおいて日本の素晴らしさを世界に認めさせた年だとも思います。

本市は3月1日で合併して10年を迎える記念すべき年になります。3月には記念式典を開催し、これまでの10年間を検証し、香美市発展のための第一歩を踏み出していきたいと思います。

合併当初には3万人超の人口でありましたが、現在では2万7千人を切り、少子高齢化による過疎化がますます進み、人口減少に歯止めがかかりません。

議会としても最重要課題と捉え、定住人口増加促進特別委員会を設置して課題解決に取り組み、同時に行財政改革推進特別委員会において、財政健全化のため調査研究にも取り組んでいるところです。

今年度も議会報告会を引き続き実施いたします。多くの皆様方の参加をいただき、ご意見を市政発展に生かしてまいりたいと思います。また、開かれた議会を目指し、住民の皆様に少しでも身近に感じてもらえる議会にしたいと思っております。

本年も市政並びに市議会に対し、温かいご指導を賜りますようお願い申し上げ、市民の皆様にとって幸多き年でありますことをご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

香北支所庁舎落成